

別紙様式第十五号

研究の名称

「当院訪問リハビリテーション終了者の特徴と関連因子について ～目標達成による終了者に着目して～」

1. 研究の対象

2023（令和5）年1月から2025（令和7）年10月の期間で当院訪問リハビリを終了した利用者120名を対象とする。

2. 研究目的・方法

臨床において、訪問リハビリテーション（以下、訪問リハビリ）の終了を目指せる利用者の抽出や目標設定に悩む場面に直面する。また、研究対象期間（2023年1月から2025年10月）の当院訪問リハビリの利用可能枠に対しての利用率は平均で95.8%であった。新規利用者の受け入れをするためには、訪問リハビリの終了（卒業）を目指していく必要がある。そこで、目標達成によりサービス終了に至ったケースにどのような特徴があるのかを調査する事とした。目標達成による終了者の特性を明らかにし、短期介入が可能である患者を予測する事、訪問リハビリ終了に向けた目標設定に役立てる事、訪問リハビリの短期介入可能者は短期介入を目指すことで、新規利用者の受け入れを円滑化する事を目的とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

訪問リハビリを終了した利用者のデータベース、リハビリ実施計画書から以下を抽出する。

- ・ 基本情報（年齢/性別）
- ・ 疾患カテゴリ（脳血管疾患/運動器疾患/神経筋疾患/その他）
- ・ 訪問リハビリ開始時の移動自立度（Barthel Index 歩行の点数）
- ・ 開始時の入浴の自立度（介助の有無）
- ・ 認知、高次脳機能（認知機能, 高次脳機能障害の有無）
- ・ 家族構成（独居/配偶者のみ/同居家族あり）
- ・ 開始時の通所系サービスの利用（デイサービス, 通所リハビリ利用の有無）
- ・ 紹介元（地域生活者からの依頼/当院退院患者）
- ・ 介護保険度（要支援1～2, 要介護1～5）
- ・ 訪問リハビリ開始時の目標（ADLのみか/IADLが含まれているか）
- ・ 作業療法介入（訪問リハビリ担当者に作業療法士が含まれているか/含まれていないか）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて利用者もしくは利用者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも利用者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

医療法人社団主体会小山田記念温泉病医院

研究責任者：理学療法士 山本 耕平

〒512-1111

三重県四日市市山田町 5538-1

電話 059-328-1260

ファックス 059-328-3040